

令和2年度

単価契約仕様書

名称 電動機枠改修

特定の場合

その業者名 _____

1 適用

本仕様書は、札幌市交通局が所有している路面電車の主電動機の電動機枠（アクセルシート及びアクセル面）改修に適用するものである。

2 契約期間

契約書に示す開始の日から令和3年3月31日まで

3 受渡場所

札幌市中央区南21条西16丁目 「電車事業所」

4 改修電動機枠の型式

MB、SN、NE、MT型

5 予定数量

仕 様	予定数量
鉄心・界磁コイル無	2台
鉄心・界磁コイル付	2台

6 改修内容

- (1) 別添図面Aφ、B、C、D、Eの現状寸法を測定記録する。
- (2) Aφ部ブッシュ溶接用中ぐり加工を行う。
- (3) Aφ部中ぐり加工部の寸法に合わせ、2つ割カラーを製作する。
- (4) 2つ割カラーを溶接し、D部・E部端面を肉盛溶接する。この時、溶接熱によるねじれ、ゆがみ等には十分注意すること。また、2つ割カラーは振動及び稼働中に溶接割れ、剥がれ等のないよう十分に注意すること。
- (5) カラー溶接部（合わせ部）は段付の生じないようにサンダー等で仕上げを行なうこと。
- (6) 溶接後Aφ部中ぐり寸法仕上げ加工を行ない、D部・E部端面はうねり、凸凹等が生じないように均一に仕上加工をすること。
- (7) Aφ、B、C、D、Eの改修後寸法を測定記録する。
- (8) 加工部にはサビ止め（シャーシブラック等）塗装を行うこと。

7 その他

- (1) 本改修作業の施工にあたっては、委託者の作業指示書に基づきおこなうこと。
また、作業終了後は速やかに作業日誌、完了届を提出するとともに、業務実施報告書（別添図面のAφ、B、C、D、E各寸法の検査書及び工程写真等）を提出し委託者の検査を受けること。
- (2) 改修電動機枠には、鉄心及び界磁コイルを組み込んだ状態のものもあり、かなりの重量があるため、取り扱いには十分注意を払うこと。

- (3) 改修後の電動機枠を台車に取り付ける作業の際には必ず立合うこととし、枠のおさまり等に異状がないか確認をすること。
- (4) 本業務において疑義を生じた場合は、速やかに委託者と協議すること。
- (5) 支払い手続きは、業務終了後受託者が業務完了届を提出し、委託者が行う検査合格後発注単位ごとに1回払いとする。

8 札幌市環境マネジメントシステムの運用への協力（別添「環境方針」参照）

受託者は、札幌市環境マネジメントシステムに合致する形で業務を遂行すること。

- (1) 電車事業所庁舎等の使用に当たっては、節電、節水、各エネルギーの節約に努めること。
- (2) ゴミの減量、資源物のリサイクルに努めること。
- (3) 使用する物品は出来るだけ環境に配慮したものを使用すること。
- (4) 業務上使用する自動車について、環境に与える負荷の少ない運転を心がけること。

業務委託－第8号様式

供覧	課長	係長	主任	係

<h2 style="margin: 0;">作業日誌</h2> <p style="text-align: right; margin: 0;">年 月 日</p> <p style="margin: 0;">一般財団法人札幌市交通事業振興公社</p> <p style="margin: 0;">理事長 藤井 透</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">受託者 (住所)</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">(会社名)</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">(代表者) 印</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">(現場責任者) 印</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">下記のとおり、作業を実施しましたので報告します。</p> <p style="margin: 0; text-align: center;">記</p> <p style="margin: 0;">業務名 []</p> <p style="margin: 0;">業務履行期間 年 月 日 から 年 月 日 まで</p>					
実施日	作業場(箇所)	作業実施内容	作業時間	その他	作業者 氏名・印
(その他)					

<h3 style="margin: 0;">業務履行確認欄</h3> <p style="text-align: right; margin: 0;">年 月 日</p> <p style="margin: 0;">上記のとおり、作業日誌の提出がありましたので履行の確認をしました。</p> <p style="margin: 0; text-align: center;">部 課 係 氏名 印</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">【実施結果： 】</p>					
--	--	--	--	--	--

課長	係長	主任	係

業務実施報告書

令和 年 月 日

一般財団法人札幌市交通事業振興公社
理事長 藤井 透 様

受託者 (住所)
(会社名)
(代表者)

印

業務名 []

着手 令和 年 月 日
業務履行期間
完了 令和 年 月 日

上記業務は、令和 年 月 日に完了しましたので報告いたします。

業務工程写真

業務名 電動機枠改修

着手 令和 年 月 日

履行期間

完了 令和 年 月 日

電動機枠改修各部寸法測定検査書

仕上寸法

区分		Aφ	B	C	D	E	Fφ	F'φ	G	H
型	M B	+0.04 133.35 -0	22.2	278.5	45.9	71.9	330.2	361.95	692.2	194.0
	S N	+0.04 135 -0	30.0	277.8	46.0	72.0	+0.06 330.0 -0	+0.06 360.0 -0	692.0	194.0
	N E	+0.04 130 -0	10.0	237.92	37.0	53.0	+0.06 280.0 -0	+0.06 305.0 -0	720.0	174.0
式	M T	+0.04 135 -0	22.0	282.7	46.0	72.0	+0.06 330.0 -0	+0.06 360.0 -0	692.0	194.0

測定寸法

区分	Aφ		B		C		D	E
	F側	F'側	F側	F'側	F側	F'側		
型	加工前							
	加工後							
式	加工前							
	加工後							
	加工前							
	加工後							
	加工前							
	加工後							

業務完了届

年 月 日

一般財団法人札幌市交通事業振興公社
 理事長 藤井 透 様

住所
 受託者 会社名
 代表者名 印

業務名 _____

上記業務は、 年 月 日に完了いたしましたのでお届けします。

受 付	年 月 日	完了を確認した職員 (氏名) 印
-----	-------	---------------------

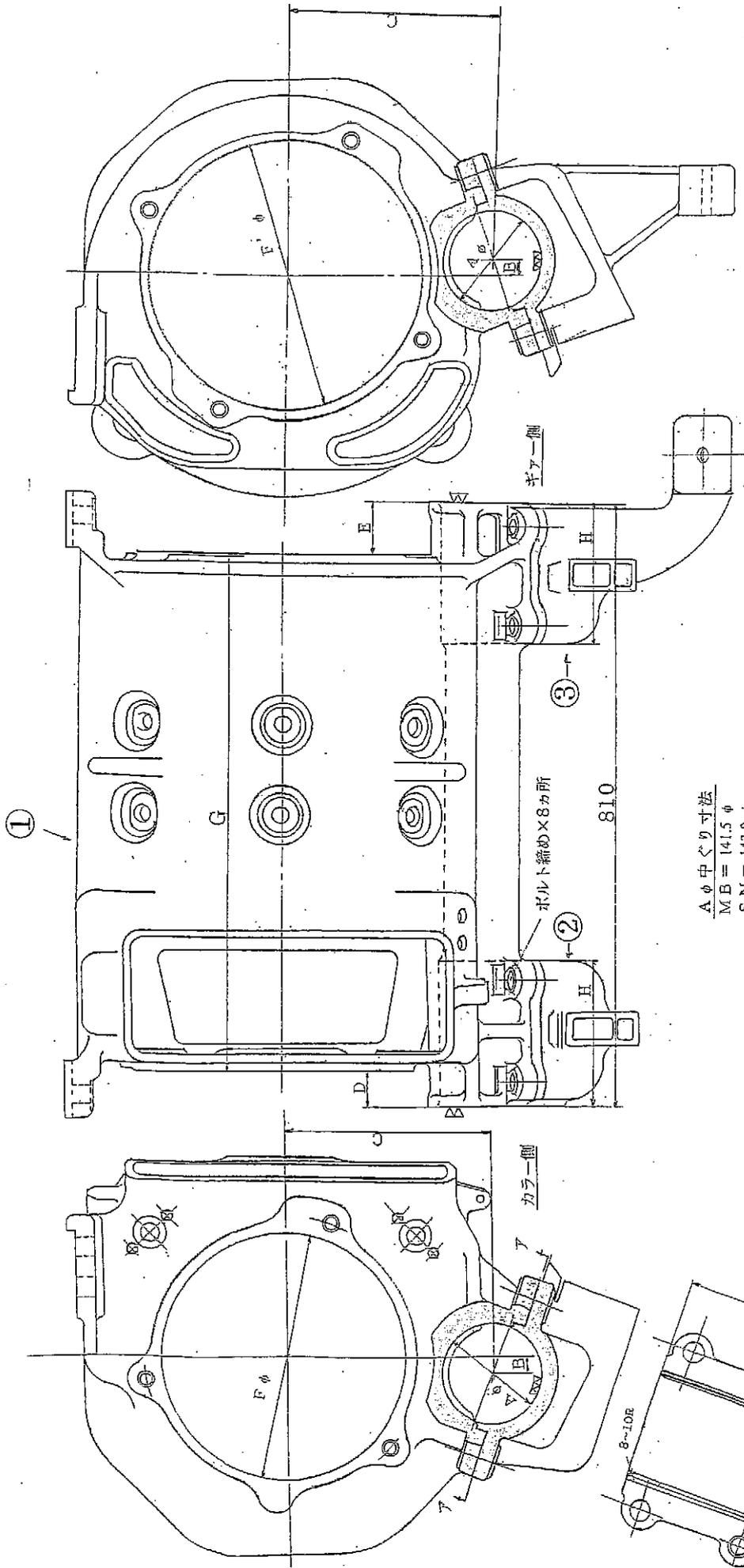
課長	係長	主任	係	この業務の完了検査に係る検査員に下記の者を命じ、 年 月 日に検査を実施してよろしいでしょうか。 検査員 印

課長	係長	主任	係	<h2 style="margin: 0;">業務完了検査報告書</h2> <p style="text-align: right; margin: 0;">年 月 日</p> <p style="margin: 0;">検査員 印</p> <p style="margin: 0;">立会人 印</p>

上記業務の検査結果は、次のとおりであったので報告いたします。

請 負 代 金 額	円 (税込)	契 約 年 月 日	年 月 日
着 手 年 月 日	年 月 日	完 了 年 月 日	年 月 日
検 査 年 月 日	年 月 日	検 査 結 果	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 不合格

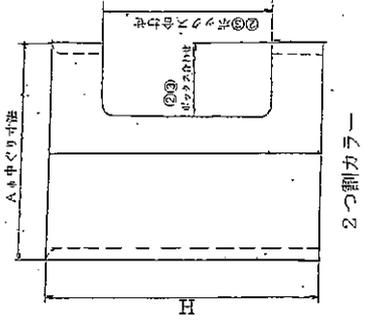
備 考	
-----	--



A φ 中ぐり寸法
 MB = 141.5 φ
 SN = 143.0 φ
 NE = 138.0 φ
 MT = 143.0 φ

任上寸法

区分	A φ	B	C	D	E	F φ	F' φ	G	H
M	+0.04 133.35 -0	22.2	278.5	45.9	71.9	330.2	361.95	692.2	194.0
S	+0.04 135 -0	30.0	277.8	46.0	72.0	+0.06 330.0 -0	+0.06 360.0 -0	692.0	194.0
N	+0.04 130 -0	10.0	237.92	37.0	53.0	+0.06 280.0 -0	+0.06 305.0 -0	720.0	174.0
M T	+0.04 135 -0	22.0	282.7	46.0	72.0	+0.06 330.0 -0	+0.06 360.0 -0	692.0	194.0



図面赤色部肉盛溶接後 (DE寸法) 機械仕上げとする。
 A φ 中ぐり削正 (寸法別記) とする。
 2つ割カラ一点溶接 (ボックス側密付) とする。
 点溶接後 A φ 内径仕上げとする。

電動機 機枠 改修
 MB・SN・NE・MT型
 札幌市交通局

ア～ア

環境方針

1 基本理念

札幌市役所は、市内で最大規模の事業者として、また、市民や事業者の先導役となるべく、環境マネジメントシステムを活用し、エネルギー使用量やエネルギー経費等の削減に継続して努めてきました。

一大消費都市である札幌市は、多くのエネルギーや生物資源を消費することから、地球環境への負荷を継続的に低減していくためには、すべての市民や事業者の皆様の理解とそれぞれのライフスタイルや事業活動の見直しなどの具体的な行動が必要です。

私は、積雪寒冷地である札幌の地域特性を踏まえた省エネ技術や再生可能エネルギーを積極的に活用し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ることにより、全庁一丸となって、札幌市役所の事務事業に伴うエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を着実に削減していきます。

また、市民、企業、行政の総力である「市民力」を結集し、低炭素型のまちづくりや、生物多様性の保全に取り組むことで、自然と共生する快適な都市「環境首都・札幌」、さらには、「魅力と活力にあふれた暮らしやすい街」さっぽろの実現を目指してまいります。

2 環境保全行動への基本方針

全ての部局は、所管する事務事業について、環境に関する法令を遵守することはもとより、環境配慮の取組を推進し、特に以下の項目に重点的に取り組むことにより、環境への負荷を継続的に低減し、まちの魅力を向上させます。

- 1 省エネルギーの取組及び新エネルギーの導入を推進します。
- 2 廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化を推進します。
- 3 環境負荷の少ない製品やサービスの利用を推進します。
- 4 事務事業のみならず、公共工事・委託業務における環境負荷を低減します。
- 5 環境問題に関する啓発・教育活動を推進します。
- 6 生物多様性の保全に向けた取組を推進します。
- 7 環境保全の取組をすすめ、地域経済の発展につなげていきます。

この環境方針及び環境活動の成果は、市民に公表するとともに、市民からの意見を市政運営に反映させていきます。

平成27年9月1日

札幌市長 秋元 克広